

千葉県袖ヶ浦市

すいじんした
水神下遺跡発掘調査報告書

—袖ヶ浦駅海側特定土地区画整理事業の埋蔵文化財調査—

2015

袖ヶ浦市袖ヶ浦駅海側土地区画整理組合

袖ヶ浦市教育委員会

序 文

自然豊かな房総半島の中央部、東京湾沿いに位置する袖ヶ浦市は、小櫃川がもたらす肥沃な土地と豊饒な山海の幸に恵まれ、古代から多くの人々が生活し、多彩な歴史と文化を育んできました。

近年では館山自動車道路や東京湾アクアライン、首都圏中央連絡道路が開通し、人びとや物の動きがより活発化しています。本市におきましても、袖ヶ浦駅海側特定土地地区画整理事業による新たな基盤整備や袖ヶ浦駅の南北自由通路の整備など、大きな変化の時を迎えています。

しかし、開発行為は遺跡の破壊を伴います。そのため、開発者の協力のもと、遺跡の発掘調査を行い、先人達が現代を築くに至る痕跡を後世に正しく伝え、開発行為と遺跡の保護を両立させることが、文化財行政の使命だと認識しております。

このたび行われた袖ヶ浦駅海側特定土地地区画整理事業におきましても、貴重な遺跡の発掘調査が実施されました。遺跡からは古墳時代の多くの土器の他に、「小銅鐸」と「銅鏡」が同時発見され、ともに出土した石製品との組み合わせは全国的に見てもめずらしい例として注目されています。

これらの結果をまとめた本書が埋蔵文化財への理解の一助となり、保護を図るための資料として活用されることを切に願っております。

最後に、発掘調査の実施から発掘調査報告書の刊行にいたるまで、ご指導、ご協力をいただきました袖ヶ浦市袖ヶ浦駅海側土地地区画整理組合並びに千葉県教育委員会文化財課をはじめ、関係者の皆様に対して心から厚くお礼申し上げます。

平成27年 2月

袖ヶ浦市教育委員会
教育長 川島 悟

